



米田のFP通信

ちょっと気になる「保険」や「年金」についての話題をお届けします。

ご挨拶

今月は自転車月間です（2017年5月施行の自転車活用推進法）。この時期、風を切って走るのは気持ち良いですが、事故には十分気を付けましょう。

国土交通省「自転車事故の損害賠償に係る現状について」によると、最も高額な賠償額は、9,521万円。男子小学生（11歳）が夜間、歩行中の女性（62歳）と正面衝突。女性は重度の傷害を負い、意識が戻らない状態となりました。

11歳の子供が1億円近い高額賠償の加害者になる、というのが自転車事故の怖いところです。

無灯火やスマホを見ながらの運転を控えるのは勿論、自転車保険の加入状況も確認しておきましょう。



今月号のちょっと気になるお金のコラム

先月、米国経済誌Forbesは2022年版世界長者番付を発表しました。世界一の資産家の保有資産額はなんと2190億ドル（約27兆円）でした。



1999年からFP業務を行っています。現在はIFAとして最適な金融商品の選定やアドバイス、加入者の方のライフプラン相談、事業承継や相続、保険相談を中心に活動しています。ドクター、企業の経営者から個人まで年間200人以上の方の相談をさせていただいています。

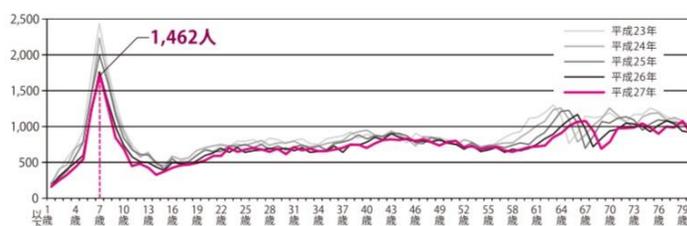
株式会社リスマネジメント・ラボラトリー 大阪支店
〒543-0018大阪市天王寺区空清町8-33 大阪府医師協同組合東館3階
電話06-6766-1511 携帯090-1152-3889 メールyoneda760@rml.co.jp

7歳、5月は交通事故に注意

この時期特に小学1年生のお子さまがいるご家庭は交通事故にご注意ください。

下図は2011年から2015年間の歩行中の交通事故の死傷者数を年齢別に表したものです。

（公益財団法人交通事故総合分析センター イタルダインフォメーションNo.116からの抜粋）



7歳といえば小学1年生です。

小学校入学を機に子供だけで行動する時間が増えることが原因とされています。

イタルダインフォメーションNo.121を見ると7歳の子どもの交通事故は5月が最も多くなっています。

4月は子どもたちもまだ緊張し、保護者の送迎や集団下校があります。ところが、5月になると学校に慣れ、仲間とふざけて歩くなど気が緩みがちになるのか事故が増えていくようです。

そして、夏休みの時期を除き11月ぐらいまで1年生の事故が多い時期が続き、冬になると2年生と変わらなくなります。

この時期、小学1年生のお子様をお持ちの方はもちろんですが、車を運転する方もいつもより少し気を付けて運転したいですね。

ちょっと気になるお金のコラム

1位はテスラのイーロン・マスク氏

先月、米国経済誌Forbes誌は世界長者番付を発表しました。

今年の1位は昨年まで4年連続1位だったアマゾンのジェフ・ベゾス氏を抜いて、テスラのイーロン・マスク氏の2190億ドル（約27兆円）でした。

世界長者番付トップ10 (10億\$) (兆円)

1	イーロン・マスク テスラ/アメリカ	219	27.38
2	ジェフ・ベゾス アマゾン/アメリカ	171	21.38
3	ベルナール・アルノー LVMH/フランス	158	19.75
4	ビル・ゲイツ マイクロソフト/アメリカ	129	16.13
5	ウォーレン・バフェット バークシャー・ハサウェイ/アメリカ	118	14.75
6	ラリー・ページ グーグル/アメリカ	111	13.88
7	セルゲイ・ブリン グーグル/アメリカ	107	13.38
8	ラリー・エリソン オラクル/アメリカ	106	13.25
9	スティーブ・バルマー マイクロソフト/アメリカ	89	11.13
10	ムケシュ・アンバニ リライアンス・インダストリーズ/インド	90.7	11.34

<https://www.forbes.com/billionaires/> 1ドル=125円で換算

10人の合計で約1.3兆ドル（約162兆円）、保有資産10億ドル以上のビリオネアは世界で2668人、

彼らの合計資産は約12.7兆ドル（約1587兆円）です。

数字が大きすぎてピンときませんが、昨年末時点の日本人1億2千万人の個人金融資産の合計が2023兆円ですからいかにビリオネア達の資産が大きいかがわかります。

セルフメイドビリオネアは1891人

起業をして事業を大きくすることで資産を築いた人をセルフメイドビリオネアと言います。

ビリオネア全体の約7割がセルフメイドです。

ランキング表を見ても気づきますが、多くは創業した会社の株を大きな比率で持ち続けている人たちです。日本人トップ5を見ても同様の傾向があるようです。

- 1位 柳井 正 / 261億ドル（ファーストリテイリング）
- 2位 滝崎武光 / 239億ドル（キーエンス）
- 3位 孫 正義 / 213億ドル（ソフトバンク）
- 4位 高原豪久 / 64億ドル（ユニ・チャーム）
- 5位 永守重信 / 54億ドル（日本電産）

資産家と言うと土地持ちの印象が強いですが、現代の資産家は少し違うようです。

創業して事業を大きくするのは誰でもができることではありません。しかしながら金融商品を手先に利用することで彼らの事業の成長の恩恵を受けることはできます。

これからはそのようなことも検討しても良いかもしれませんね。